



## 3位入賞 ベスト記録を更新

4/29 第11回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会

第11回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会が4月29日、松本市の松本平広域公園陸上競技場で開催されました。大会は県内から62チームが出場。安曇野市は、自己最高記録を更新。一時トップに立つなど優勝を争い、優勝チームと2秒差の3位入賞の好成績を収めました。

また、この日は、中学生以上が出場する第25回長野県市町村対抗駅伝競走大会も行われ、安曇野市は、出場57チーム中7位となり2年連続の入賞を果たしました。



## 始まります 農家民宿

4/9 市農家民宿連絡協議会設立総会

都市部で暮らす中・高校生に市内で農業体験をしてもらい、市の産業振興につなげるため、市内の農家で構成する「市農家民宿連絡協議会」の設立総会が4月9日、豊科交流学習センター「きぼう」で開催されました。

当日は、協議会の会員となる農家の皆さん33人が参加。今後の事業計画や予算の審議のほか、農家民宿の受け入れ準備として食品衛生講習会を受講しました。今後も本協議会を通じて、会員同士の情報交換や、研修会などを行っていく予定です。

## 少女たちを魅了した挿絵を展示

4/25 豊科近代美術館 藤井千秋展オープニング式典

豊科近代美術館の「藤井千秋展～美術館はオトギノクニ～」が同館で4月25日から始まりました。

同館では、市制施行10周年に合わせ、幅広い年代の皆さんに美術館を楽しんでもらおうと企画したもので、昭和20年代に雑誌「少女の友」などの挿絵画家として当時の少女たちを魅了し、活躍した藤井千秋さん（1923～85年）の原画など約200点を展示しています。

初日には、関係者約30人が出席し記念式典などが行われました。式典後の内覧会では、藤井千秋さんの姪の藤井樹里さん（京都市）が作品を解説。藤井さんは「子どもに夢を与えようと一筆に心を込めて描いていた」と話し、作品については「当時の印刷では再現できなかった原画の繊細さをぜひ見てほしい」と話しました。

なお、同展は、6月7日まで開催されています。



## 新緑の安曇野に早春賦の歌声響く

4/29 市制施行10周年記念 第32回早春賦まつり

安曇野に春の訪れを告げる第32回早春賦まつり（早春賦まつり実行委員会主催）が4月29日、穂高川沿いの早春賦歌碑前で行われました。本年は市制施行10周年記念事業の一環として行われ、市民など約500人が参加しました。

開会式に続き、穂高南小・穂高西小・穂高北小の児童や芸術文化協会コーラス部の合唱のほか、アルパクラブによるアルパの演奏も行われました。最後は春の日差しに新緑が輝く中、参加者全員で「早春賦」を合唱しました。開会式で若宮昭三実行委員長は「早春賦は全国で愛唱されています。みんなで知恵を絞り次世代まで歌い継がれてほしい」と話しました。また、作曲者中田章の孫で東京都在住の中田基彦さんは「早春賦は102年前の大正2年に作られました。今、日本の唱歌、童謡を見直そうと関心が高まっており、これからも日本の誇れる愛唱歌として歌い継がれてほしい」と話しました。



## 会場が一つに 歌声響く

5/5 市制施行10周年記念 第52回童謡まつり

豊科出身の詩人で数多くの童謡を作詞した藤森秀夫さんを顕彰する「第52回童謡祭り」（同実行委員会主催）が5月5日、豊科交流学習センター「きぼう」で行われました。この日は市民など約230人が参加。藤森さんの作品、童謡「めえめえ児山羊」をはじめ「こいのぼり」などを参加者全員で合唱しました。このほか花園共同保育園（豊科田沢）の園児の皆さんによる手話を交えての合唱や、市内小中学生作詞作曲コンクールの表彰なども行われました。最優秀賞を受賞した堀田晃志くん（明南小4年）は「初めて作詞・作曲しました。受賞はとてうれいす」と話してくれました。



## 「安曇野」を切手にのせて全国に

4/23 オリジナルフレーム切手「信州安曇野」を発行

市制施行10周年を記念し、市内の自然や名所を題材にしたオリジナル切手「信州安曇野」が日本郵便株式会社から発行されました。

発売日前の4月23日、市内の郵便局長などが市役所を訪問。宮澤市長にオリジナル切手を贈呈しました。三郷郵便局長の榎石豊さんは「10周年を記念し、市内郵便局が中心となり企画しました。市の観光PRにもつなげたい」と話しました。

切手は、1シート（82円郵便切手10枚）、1,230円で、中信地区の郵便局103局で販売されています。（3,000シート限定販売）